

第92回 埼玉県駅伝競走大会

【出場結果】

実施日 : 2月2日(日) 8時30分スタート

コース : さいたま新都心駅前～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

総距離 : 7区間 42.195km

成績 : 2時間9分20秒 2/15位

出場者・リザルト	1区9.695km	坪井 響己	1/15位	29'22"	★区間賞
	2区4.3km	三浦 剛	2/15位	12'58"	
	3区7.8km	小林 航央	2/15位	23'43"	
	4区3.9km	関口 大樹	2/15位	12'07"	
	5区5.1km	田中 龍誠	3/15位	16'01"	
	6区5.4km	西沢 晃祐	2/15位	16'40"	
	7区6.0km	渡辺 瑠偉	3/15位	18'29"	

【レポート】

先週行われた奥むさし駅伝に続き、年度最後の駅伝として埼玉県駅伝に出場しました。

本大会は、コロナ禍で中止となった大会も含めると当社としては5年振りの出場となり、例年チーム目標としてエントリーはしていたものの、チーム事情から選手が揃わず欠場を余儀なくされており、今年は長年チームに貢献してきた渡辺の引退レースのため、現状走ることが出来る7名の選手でレースに臨みました。



スタートの号砲を待つ1区の選手達

当日は朝から冷たい雨が降り続き、走るには厳しいコンディションの中でのスタートとなる中、1区に起用した坪井は、先週の奥むさし駅伝でもアンカーで区間3位の好走を見せており、今回のレースも期待通りに先頭集団でレースを進めました。

途中、腹痛を感じるアクシデントに見舞われましたが、痛みを耐え、レース終盤に集団から抜け出すと、見事に区間賞の走りで2区の三浦に襷を渡しました。

2区を任された三浦は、序盤からハイペースでレースを進め、後方から追いつけてきたコモディイダの外国人選手に先頭を奪われて、一時はかなり差を広げられましたが、中継所手前では50m差まで追いつく力強い走りを見せて3区の小林に襷を渡しました。



1区 坪井 区間賞の快走！！



2区 三浦

3区に起用された小林は、先週の奥むさし駅伝では、個人の走りとしては悔しい結果に終わり、精神的にも難しい中での出走となりましたが、序盤から1km3分ペースを意識してレースを進め、前を独走するコモディイダの選手には差を広げられたものの、安定した走りを見せて4区の関口に襷を渡しました。

4区を走る関口は、奥むさし駅伝は区間エントリーから外れ、悔しい思いをしましたが、今回のレースでは最短区間を確実に走り切り、3位を走る武蔵野学院大学とは70秒以上の差をつけて、単独2位をキープしたまま、5区の田中に襷を渡しました。



3 区 小林



4 区 関口

5 区に起用された田中は、膝に痛みを抱える状態の中での出走となりましたが、渡辺のラストランの舞台を整えるため、万全な状態ではない中でも着実にペースを刻み、順位を落とすことなく 6 区の西沢に襷を渡しました。



6 区 西沢



7 区 渡辺

6 区の西沢は調整練習で不安を残す走りをしていたため、当日の走りにやや心配な点がありましたが、不安を払拭させる安定感のある走りを見せて単独 2 位をキープしたまま、アンカーの渡辺に襷を渡しました。

競技者人生最後の走りとなった渡辺は、今までの競技人生を振り返りながら一歩一歩を大切に刻み、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを走りで伝えながら、一般の部 2 位をキープして、熊谷スポーツ文化公園内の陸上競技場にゴールに飛び込みました。



ラストランの渡辺！！感謝の気持ちを走りに変えてゴールに向かう

ShinDengen /



早朝から現地でのご声援を頂きました、多くの皆さまへ感謝申し上げます！！

【総 括】

2週続けての駅伝となり、体調不良者や怪我人が相次ぎ、出走出来る7名の選手で出場したレースとなりましたが、「ラストランとなる渡辺を笑顔でゴールに迎え入れる！」をキーワードに1区坪井の区間賞の走りで勢いをつけると、2区以降の選手も現状ある力を出し切ってくれて、一般の部で準優勝を掴むことが出来ました。

まだまだ課題は多くありますが、来季には期待の新人も加入予定であり、次こそは優勝を確実に勝ち取れるチームに成長していきたいと思います。

最後になりますが、早朝から沿道に駆け付けて頂き、ご声援を頂きました田中社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、日頃から温かいご声援を頂いております皆様に、あらためましてチーム一同、御礼申し上げます。

以 上

写真提供：新電元工業株式会社 坂本千夏様 佐藤圭一様 小川正義様